

プレスリリース

平成 12 年 3 月 28 日
食 糧 庁

米のカドミウムの分析結果について

本資料は、平成 11 年産国内産米のカドミウムの分析結果を取りまとめたものである。

問い合わせ先：食糧庁

代表 03(3502)8111

総務部検査課品質管理室

直通 03(3501)3796

室 長 小西 幸男 内線 5578

課長補佐 小谷 和雄 内線 5579

計画流通部業務流通課

直通 03(3501)3790

課長補佐 松本 隆平 内線 5734

平成 11 年産国内産米のカドミウムの分析結果

1 一般地域の調査

基準値 (ppm)	分析試料 点 数	検 出 状 況		
		1.0ppm未満	1.0ppm以上	計
1.0	1,000	924	0	924

(注) 1 一般地域の調査とは、米の安全性の確認の観点から実施している残留農薬の分析に併せ、同一試料でカドミウムの分析を行ったものである。試料の採取元の米穀は、分析結果が判明するまで出庫留保されている。

なお、残留農薬については、現在分析中であり、分析終了後、分析結果を取りまとめ公表することとしている。

2 分析機関は、食糧庁検査課品質管理室、札幌食糧事務所他 8 食糧事務所品質管理課である（以下同じ）。

2 特定地域の調査

基準値 (ppm)	分析試料 点 数	検 出 状 況		
		1.0ppm未満	1.0ppm以上	計
1.0	936	922	3	925

(注) 1 特定地域の調査とは、平成 8 年～10 年の間において、比較的高濃度のカドミウムが検出された生産者及びその周辺の生産者から試料を採取し、分析を行ったものである。試料の採取元の米穀は、分析結果が判明するまで出庫留保されている。

2 食品衛生法の基準値（1.0ppm）以上の試料の採取元の米穀は、全量出庫が留保されており、今後、非食用として処分される。